



OLTAC オルタックスプレー
SPRAY

超速硬化型ウレタン塗膜防水

駐車場防水工法

vol.2

超速硬化ウレタン塗膜防水だから、強い・軽い・速い 「オルタックスプレー」駐車場防水工法



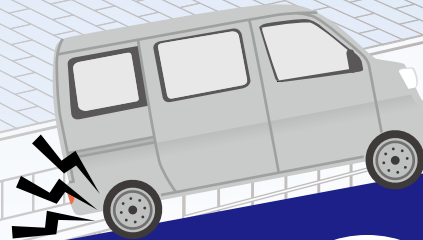
駐車場防水工法は、頻繁な車の走行による摩耗、タイヤのひねりなどに耐える強さが必要です。また、商業施設の屋上駐車場改修などでは、施設の営業に影響を及ぼさず、短工期での施工が求められます。

オルタックスプレー駐車場工法の特長



オルタックスプレー工法は、耐久性・耐摩耗性に優れた超速硬化型スプレー防水材料に加えて、プライマーから保護塗料まで速硬化タイプを用いるシステムです。短い工期で強靱な防水層を形成し、美しい仕上がりを実現します。

車両の出入りが頻繁でコーナーやスロープ部が多い商業施設の駐車場や、躯体の動きが大きい鉄骨造の屋上にも最適な防水工法です。



強くて軽い
強靱な塗膜物性

短工期
超速硬化

長持ち
高耐久性

超速硬化型ウレタン塗膜防水「オルタックスプレーFF」「オルタックスプレーGG」

オルタックスプレーFFは、強度・耐久性等、物性バランスに優れた塗膜性能を有しており、幅広い用途で信頼性の高い防水層を形成します。JIS A 6021 建築用 塗膜防水材料のウレタンゴム系高強度形の認証を取得しています。(JIS A 6021 認証番号: TC 03 07 444)
オルタックスプレーGGは、さらに高い耐摩耗性を備えた超速硬化型ウレタン防水材料です。

【スタンダードタイプ】
オルタックスプレーFF
オルタックスプレーFF-S



- オルタックスプレーFF
390kg/セット
(主剤:200kg/硬化剤:182kg/トナー:8kg)
- オルタックスプレーFF-S
35.12kg/セット
(主剤:18kg/硬化剤:16.4kg/トナー:0.72kg)
JIS A6021高強度形
標準色:グレー 硬化物比重:1.0

【高硬度タイプ】
オルタックスプレーGG
オルタックスプレーGG-S



- オルタックスプレーGG
390kg/セット
(主剤:202kg/硬化剤:180kg/トナー:8kg)
- オルタックスプレーGG-S
35.12kg/セット
(主剤:18.2kg/硬化剤:16.2kg/トナー:0.72kg)
JIS A6021高強度形
標準色:グレー 硬化物比重:1.0

オルタックスプレーFF/オルタックスプレーGG 物性表

項目	オルタックスプレーFF	オルタックスプレーGG	JIS高強度形規格
引張り強さ (N/mm ²)	12	18	10以上
破断時の伸び率 (%)	395	280	200以上
引裂き強さ (N/mm)	60	76	30以上
硬度 (ショアD)	35	45	—
硬化物比重 (Mg/m ³)	1.0	1.0	—

※最新の試験結果数値については、試験表をお取り寄せください。
※上記値は弊社の試験設備による特定条件下での測定値の代表例であり保証値ではありません。
施工環境により変化する場合があります。



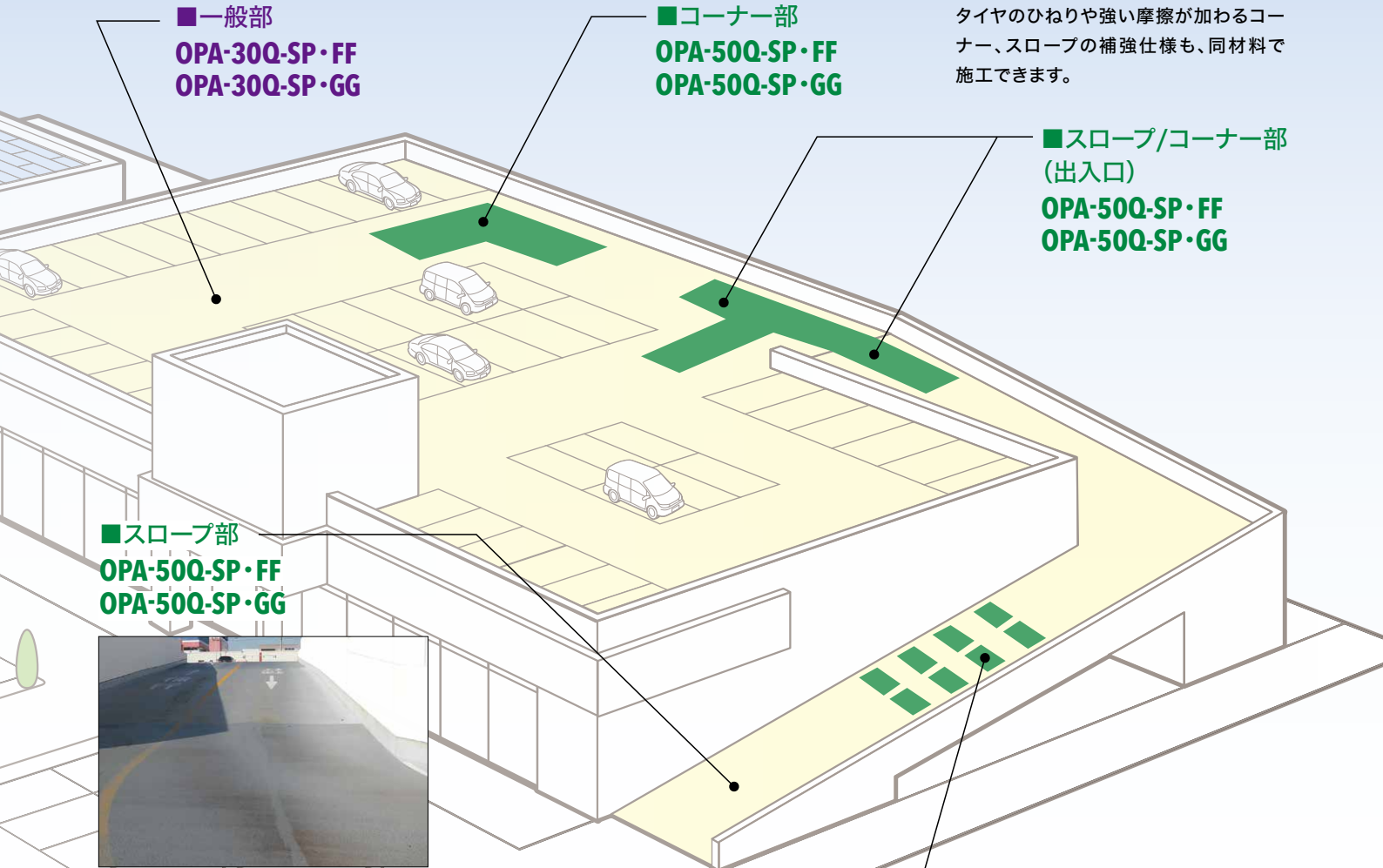
駐車場 一般部仕様

強度に優れるオルタックスプレーにグリップ用骨材を散布した「グリップ層」を施工。スプレーによる吹付けを重ねることで、駐車場に適した走行性と防水性・摩耗耐久性を兼ね備えた強靱な塗膜を形成します。



スロープ/コーナー部仕様

タイヤのひねりや強い摩擦が加わるコーナー、スロープの補強仕様も、同材料で施工できます。



■スロープ部 (防滑仕様)

ストライプ仕上げ
OPA-50SQ-SP・FF
OPA-50SQ-SP・GG



スロープ 防滑仕様

滑り止め効果や高い耐摩耗性が求められる急勾配のスロープには、スプレー防水を重ねることで、ストライプ状の防滑層を形成。

オルタックスプレー駐車場工法 選べる2タイプ

下地条件や用途に合わせて選択可能です。

FF工法

【スタンダードタイプ】

全層オルタックスプレーFF仕様
下地追従性重視タイプ

GG工法

【高硬度タイプ】

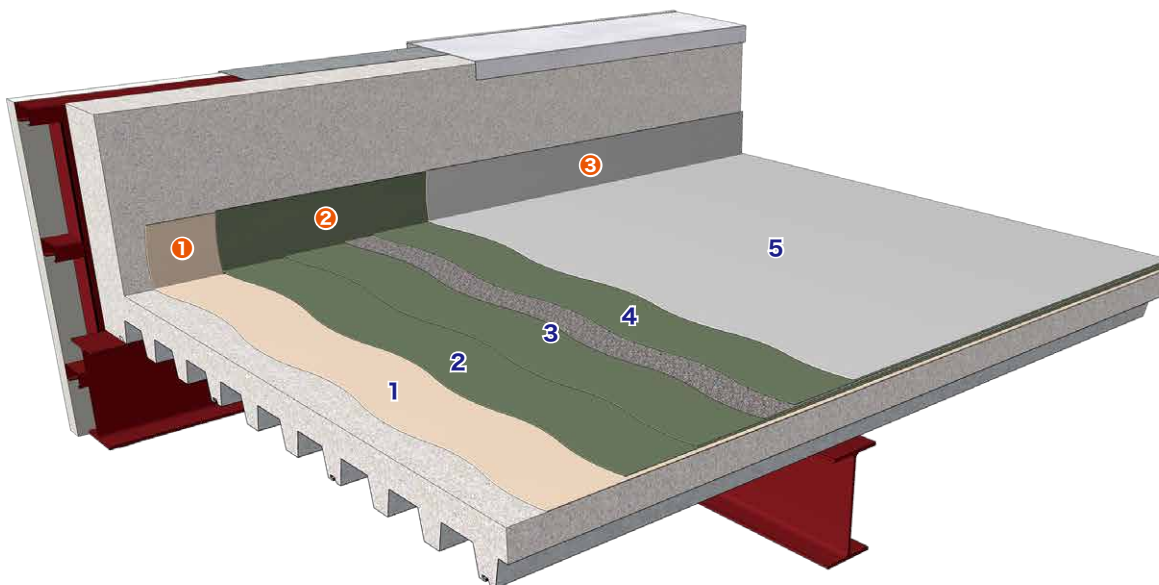
全層オルタックスプレーGG仕様
耐摩耗性・耐久性重視タイプ

高伸長・高強度

高硬度

駐車場一般部仕様

駐車場床、直進走行部に



防水仕様

OPA-30Q-SP シリーズ

平面部	OPA-30Q-SP・FF (スタンダード)		平面部	OPA-30Q-SP・GG (高硬度)	(単位: /m ²)
1	速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合)※1	0.3kg~		速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合)※1	0.3kg~
2	オルタックスプレーFF	2.0kg		オルタックスプレーGG	2.0kg
3	オルタックスプレーFF OTグリップA	0.6kg 0.5kg		オルタックスプレーGG OTグリップA	0.4kg 0.5kg
4	オルタックスプレーFF	0.4kg		オルタックスプレーGG	0.4kg
5	OTコートQQ※2	0.25kg~		OTコートQQ※2	0.25kg~

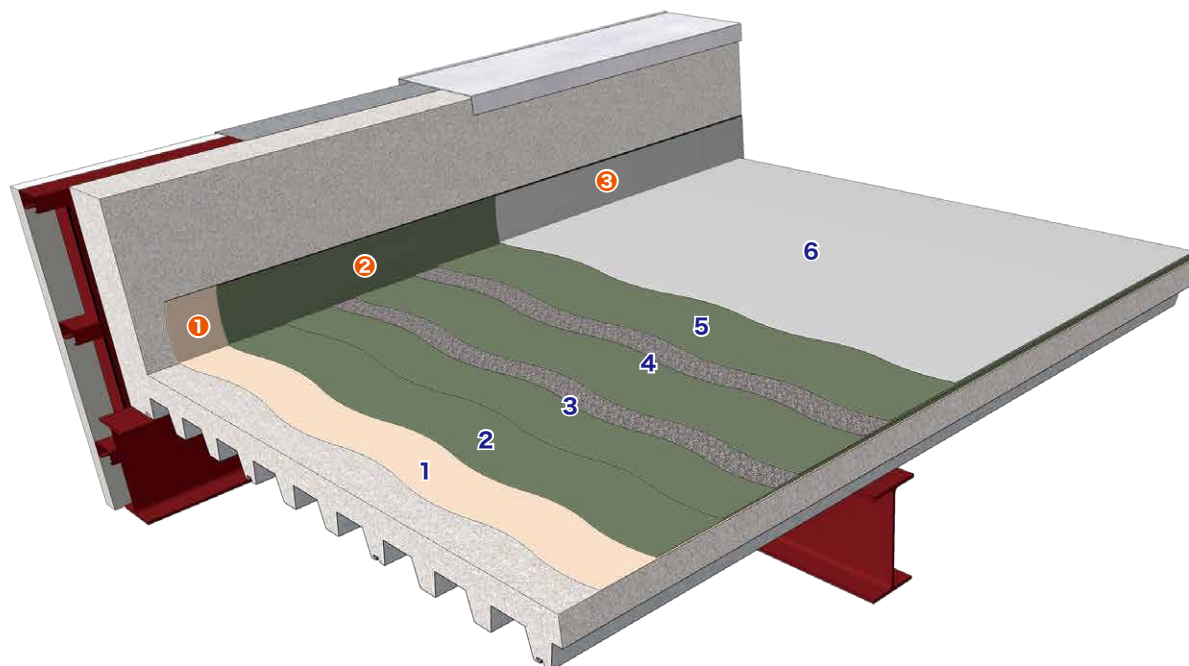
立上り部共通	・FF(スタンダード)		立上り部共通	・GG(高硬度)	(単位: /m ²)
①	速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合)※1	0.2kg~		速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合)※1	0.2kg~
②	オルタックスプレーFF	2.0kg		オルタックスプレーGG	2.0kg
③	OTコートQQ※2	0.2kg		OTコートQQ※2	0.2kg

共通注意事項

- ※1 プライマー工程は、プライマーの吸い込みが著しい場合やピンホール抑制を期待したい下地の場合は、重ね塗りをするなどして確実にプライマー造膜層を形成してください。工程1に代えて、プライマー工程を下記の通りで施工することも可能です。
代替工程①OTプライマー-QQ+アジャストU(3:2で配合):0.15kg/m²
②OTプライマー-QQ+普通ポルトランドセメント(4:1で配合):0.2kg/m²
①施工後、上に乗れる程度乾燥した後に②を施工することができます。アジャストU・普通ポルトランドセメントの配合比は下地の状況や気温によって変化することがあります。
- ※2 OTコートはウールローラーを用いて、2回に分けて塗布する等して確実に所定の塗布厚を確保してください。エアレスガンでの施工は避けてください。
保護塗料はOTコートQQに代えて、オルタックコートSSや各種OTコートシリーズを使用することができます。
- ・立上り部の仕様は、各仕様のベース層に用いるスプレー材を使用します。
- ・グリップ用骨材はセラミック骨材または専用砕石骨材を使用してください。スプレー吹付け後すぐに散布し、硬化する前に散布を完了し、余分な骨材を除去してください。
- ・駐車場標示はオルタックパークライン(0.2kg/m²)をご使用ください。
- ・駐車場出入口周辺部の平場(10m×10m範囲)はグリップ層を2回施工するスロープ仕様をご採用ください。(OPA-50Q-SPシリーズ)

駐車場スロープ/コーナー部仕様

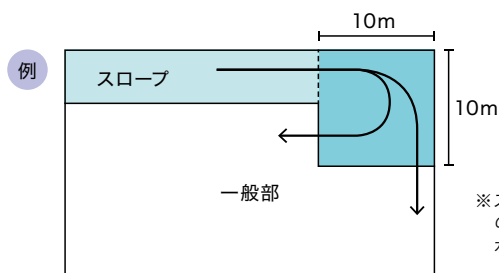
走行するタイヤの摩擦が大きく、摩耗しやすい場所など



防水仕様

OPA-50Q-SP シリーズ

平面部 OPA-50Q-SP・FF (スタンダード)			平面部 OPA-50Q-SP・GG (高硬度)		(単位: /m ²)
1	速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合)※1	0.3kg	速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合)※1	0.3kg	
2	オルタックスプレーFF	3.0kg	オルタックスプレーGG	2.0kg	
3	オルタックスプレーFF OTグリップスロープ用	0.8kg 0.5kg	オルタックスプレーGG OTグリップスロープ用	0.8kg 0.5kg	
4	オルタックスプレーFF OTグリップスロープ用	0.8kg 0.5kg	オルタックスプレーGG OTグリップスロープ用	0.8kg 0.5kg	
5	オルタックスプレーFF	0.4kg	オルタックスプレーGG	0.4kg	
6	OTコートQQ※2	0.3kg~	OTコートQQ※2	0.3kg~	



※スロープ/コーナー部仕様は駐車場出入口周辺部の平場(10m×10m)にも用います。また、既存防水層の摩耗程度が著しい箇所については、協議の上スロープ仕様を適用する場合があります。

■オプション下地処理(一般部・スロープ 共通)

ピンホール抑制や不陸修正、施工インターバルの延長を目的として、プライマー工程施工後に手塗り用のウレタン防水材(オルタックエース等)を0.5~1.0kg/m²程度しごき塗りすることがあります。現場の下地条件を考慮して適宜採用してください。

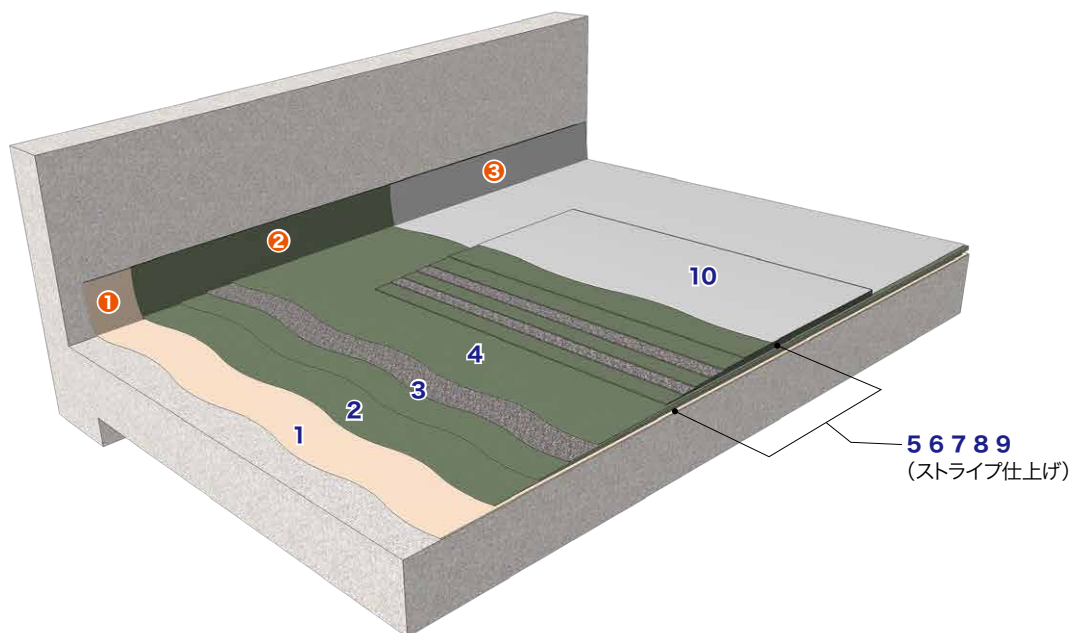
【保護塗料 初期硬化時間】

OTコートQQ…………… 1.5時間/23℃
 オルタックコートSS…… 約32分/23℃
 オルタックパークライン…5時間/23℃(開放時間:16時間以上/夏季)
 8時間/5℃(開放時間:40時間以上/冬季)

※他材料については、「オルタックスプレー」カタログまたは施工マニュアルをご覧ください。

駐車場スロープ 防滑仕様

滑り止めが必要な急勾配の斜路など



OPA-50SQ-SP ストライプ仕上げ

	平面部 OPA-50SQ-SP・FF (スタンダード)		平面部 OPA-50SQ-SQ・GG (高硬度)	(単位:/m ²)
1	速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合) ^{※1}	0.3kg~	速硬化オルタックプライマー-E +普通ポルトランドセメント(4:1で配合) ^{※1}	0.3kg~
2	オルタックスプレー-FF	3.0kg	オルタックスプレー-GG	2.0kg
3	オルタックスプレー-FF	0.8kg	オルタックスプレー-GG	0.8kg
	OTグリップスロープ用	0.5kg	OTグリップスロープ用	0.5kg
4	オルタックスプレー-FF	0.4kg	オルタックスプレー-GG	0.4kg
5	ストライプ部分 割付け、養生	—	ストライプ部分 割付け、養生	—
6	ストライプ部分 オルタックスプレー-FF	0.8kg	ストライプ部分 オルタックスプレー-GG	0.8kg
	ストライプ部分 OTグリップスロープ用	0.5kg	ストライプ部分 OTグリップスロープ用	0.5kg
7	ストライプ部分 オルタックスプレー-FF	0.8kg	ストライプ部分 オルタックスプレー-GG	0.8kg
	ストライプ部分 OTグリップスロープ用	0.5kg	ストライプ部分 OTグリップスロープ用	0.5kg
8	ストライプ部分 オルタックスプレー-FF	0.4kg	ストライプ部分 オルタックスプレー-GG	0.4kg
9	ストライプ部分 オルタックスプレー-FF	0.4kg	ストライプ部分 オルタックスプレー-GG	0.4kg
10	OTコート QQ	0.3kg~	OTコート QQ	0.3kg~

※1 プライマー工程は、プライマーの吸い込みが著しい場合やピンホール抑制を期待したい下地の場合は、重ね塗りをするなどして確実にプライマー造膜層を形成してください。
 工程1に代えて、プライマー工程を下記の通りで施工することも可能です。
 代替工程①OTプライマー-QQ+アジャストU(3:2で配合):0.15kg/m²
 ②OTプライマー-QQ+普通ポルトランドセメント(4:1で配合):0.2kg/m²
 ①施工後、上に乗れる程度乾燥した後に②を施工することができます。アジャストU・普通ポルトランドセメントの配合比は下地の状況や気温によって変化することがあります。

注意事項

- ・立上り部の仕様は、OPA-30Q-SP(3ページ)と共通です。
- ・骨材はスプレー吹付け後すぐに散布し、硬化する前に散布完了してください。硬化後は余分な骨材を除去してください。
- ・OTコートQQはウールローラーにて2回塗とします。エアレスガンでの施工は避けてください。
- ・保護塗料はOTコートQQに代えて、オルタックコートSSを使用することができます。
- ・駐車場標示は、オルタックパークライン(0.2kg/m²)をご使用ください。
- ・駐車場出入口周辺部の平場(10m×10m)は、グリップ層を2回施工します。

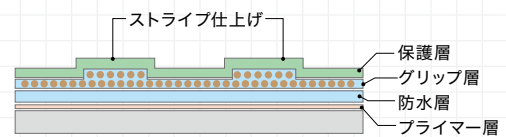
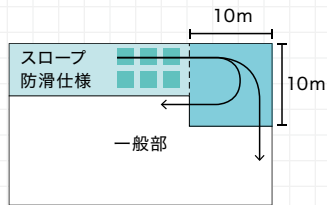
駐車場路面の防滑性を高める 「ストライプ仕上げ」

駐車場の斜路は、勾配を走行する車両のスリップ対策として、通常のグリップ層に加えてより高い滑り止め効果が必要です。骨材を加えたスプレー防水材料を部分的に重ねて吹付けることで凹凸を設け、高い防滑性を付加するとともに耐摩耗性を高めることができます。

スロープ施工前

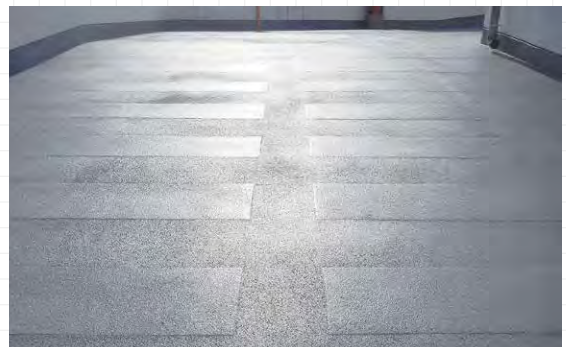
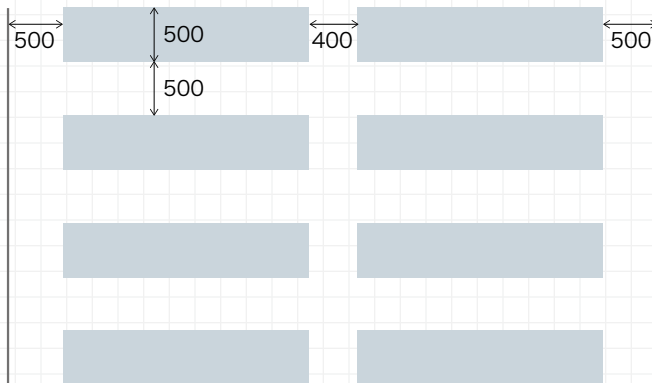


スロープ施工後(ストライプ仕上げ)



※駐車場出入口周辺部の平場(10m×10m)は、グリップ層を2回施工します。(OPA-50Q-SP)

■ストライプ仕上げ割付図



【ストライプ仕上げ部分の施工】



工程6で上図を参考にストライプ状に割付け、ベニヤ等で型枠を作成し養生します。



型枠内にオルタックスプレーFFとOTグリップスロープ用を吹付け、ストライプ状のグリップ層を施工します。



ストライプ部分にオルタックスプレーFFを重ねて吹付けた後に、保護塗料OTコートQQを全面に塗布します。

駐車場 防水改修 施工手順



既存防水撤去



下地処理(研磨作業)

研磨後のコンクリート下地

下地処理のポイント

既存防水層の撤去および研磨処理

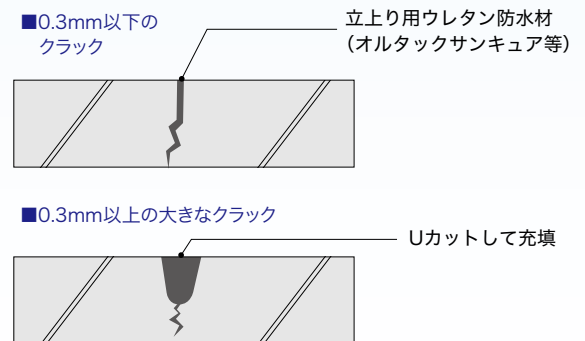
- 既存防水層は完全に撤去後、コンクリート表面に残っているプライマー層も研磨機で完全に除去してください。(2種ケレン相当)
- 下地研磨は、ライナックス社製K-30相当以上で研磨してください。
- 下地の表面は、凹凸の無い平滑な仕上げとし、研磨痕が残る程度にしてください。
- 立上りや基礎周り等、研磨機が入れない箇所はサンダーを用いて研磨してください。
- 下地の脆弱部分については、はつきり取った後、ウレタン防水材等にて、平滑に下地処理を行なってください。
- 接着不良の原因となりますので、粉塵や油脂等の汚れは丁寧に除去してください。

下地の乾燥

- 下地は十分に乾燥させてください。下地が濡れているとプライマーが浸透せず、剥離、ふくれの原因になります。
- コンクリート水分計で適切に乾燥できていることを確認してください。
例：高周波静電容量式水分計HI-520-2(株ケット科学研究所製)にて5%以下
道路橋床版水分計HI100(株ケット科学研究所製)にてカウント値250以下

下地クラックの処理

- 下地に0.3mm(目安)以下の小さなクラックがある場合は、プライマー塗布後、OTシールや立上り用ウレタン防水材にて平滑になるように埋めてください。
- 0.3mm(目安)以上のクラックは、Uカットして、プライマー塗布後、立上り用ウレタン防水材を充填してください。
※スプレーウレタン吹付け後にもクラックによる凹部分が確認できるようにであれば、再度充填を行ってください。
- ※著しく下地が損傷している場合は、エンドラップテープ100を併用してください。



プライマー塗布

【オルタックプライマーE類(普通ポルトランドセメント入り)の塗布】

- 下地乾燥、清掃状態を確認した後、全面に、速硬化オルタックプライマーEまたはオルタックプライマーE(普通ポルトランドセメント入り)を、刷毛またはウールローラーで均一に塗布してください。プライマー硬化後の表面には光沢があり、ピンホールの発生がないようにしてください。ただし、プライマーの吸い込みが著しい場合は重ね塗りをするなどして確実にプライマー造膜層を形成してください。
- 普通ポルトランドセメント入りプライマーの作成は次のように行ってください。
 - ①プライマーの主剤と硬化剤を計量し、電動攪拌機にて十分に攪拌する。
 - ②プライマーと普通ポルトランドセメントが質量比でプライマー：セメント=4:1となるように普通ポルトランドセメント計量し、プライマーに加える。
 - ③電動攪拌機にて十分に攪拌する。

【OTプライマーQQでプライマー処理をする場合】

- 上記に代えて、速乾タイプのOTプライマーQQを用いることも可能です。その場合下記の通り、浸透プライマー・造膜プライマーの2工程となります。

工程1<浸透型プライマー塗布>

- ・OTプライマーとアジャストUを3：2の配合で混合する。
- ・ウールローラーで均一に0.15kg/m²塗布し、下地に十分浸透させる。
- 上に乗れる程度乾燥した後に、次工程の造膜型プライマーを塗布することができます。
- ※造膜型プライマーは必ず、夏季は1日以内、冬季は3日以内に塗布してください。

工程2<造膜型プライマー塗布>

- ・OTプライマーQQと普通ポルトランドセメントを、4：1～3：1の配合で混合する。
- ・ウールローラーで均一に0.2kg/m²塗布する。

■プライマー共通注意事項

※出入り隅、ドレン、Uカット部等の細かい部位は、液溜まりができないよう刷毛等を用いてください。液溜りができるとオルタックスプレーFF吹付けにより、膨れる場合があります。プライマー塗布時点で、埋まっていないクラックがある場合は、OTシールや立上り用ウレタン防水材にて平滑になるように埋めてください。
※次工程のオルタックスプレーFFの施工のインターバルについては、オルタックスプレーカタログを参照してください。



プライマー



オルタックスプレー



保護塗料(OTコートQQ)



標示塗料(オルタックパークライン)

施工のポイント

オルタックスプレーの施工

- オルタックスプレー施工に先立ち、色調、スプレーパターン、硬化性、仕上がりになど材料や機械本体の状態を確認してください。
- スプレー施工は3～4度重ね吹きを行いながら所定の厚みになるように施工します。
- オルタックスプレーの施工での吹継ぎは冬季3日以内、夏季1日以内とし、超過した場合には速硬化OTプライマーMブルーを塗布した上で行います。塗り継ぎ幅は100mm以上とします。

施工時のスプレーマシン設定温度と液圧

		オルタックスプレーFF/GG
プライマリー	主剤(°C)	65
	硬化剤	65
	ホース	65
静止時液圧	MPa	10
	Kgf/cm ²	100

グリップ用骨材の散布

- オルタックスプレーを吹付けた後、スプレー材料が硬化する前に、追いかける様に各種骨材散布機を用いてグリップ用骨材を散布します。(OTグリップA/OTグリップスロープ用)
- オルタックスプレーが硬化した後、グリップ用骨材が固着されてから、余剰分を掃き取り回収します。
- 骨材の脱落防止のために、グリップ用骨材施工後、増し吹きとしてオーバーコート層(オルタックスプレー類0.4kg/m²)を必ず施工してください。

養生の撤去と防水層の確認

- 工事に当たって養生を行った部分は吹付け終了後、直ちに撤去を行います。吹付けが終了した防水層に異常がないか入念に確認してください。

保護塗料(OTコートQQ)の施工

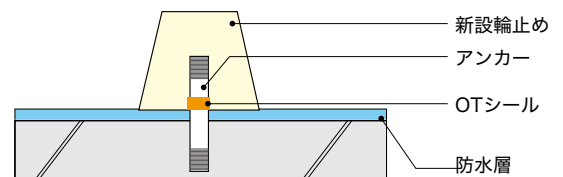
- OTコートQQはウールローラーを用いて、2回に分けて塗布する等で確実に所定の塗布厚を確保してください。
- 塗膜厚が薄くなりやすいので、エアレスガンでの施工は避けてください。
- 保護塗料はOTコートQQに代えて、オルタックコートSSや各種OTコートシリーズを使用することができます。
- オルタックスプレーの施工部分はできるだけ当日、または翌日中にOTコートQQを施工してください。

オルタックパークラインの施工

- あらかじめ施工箇所にラインを引き、マスキングテープ等で養生します。施工終了後は硬化前にマスキングテープ等の養生材を剥がしてください。
- 規定量を十分に混合攪拌し、ウールローラーで0.2kg/m²塗布します。
- 骨材の透けが見られる場合は2回塗りしてください。
- 硬化した直後は接着力が発現していません。既定の開放時間まで通行は避けてください。
- OTコートQQ施工後、夏季1日以内、冬季3日以内にオルタックパークラインを施工し、超過した場合は、速硬化OTプライマーMブルーを塗布した後にオルタックパークラインを塗布してください。

<車輪止めについて>

1. 既存の輪止めは基本的に撤去してください。
2. 輪止めを新設する際、アンカーの周辺はOTシールにてシーリングしてください。



■輪止め固定方法

【施工上の注意】

- ・降雨が予想される場合、5°C以下での施工、強風時は原則として施工を行わないでください。
- ・材料の保管には降雨、直射日光を避けてください。
- ・火気厳禁として、材料の運搬、保管、貯蔵等の取り扱いには十分注意をしてください。

技術資料

■オルタックスプレーFFの物性

耐疲労試験

コンクリート下地の亀裂や、打ち継ぎ部等に生じる伸縮による防水層の耐久性を確認する。

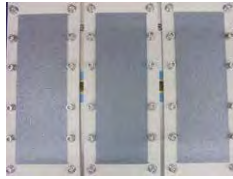
□試験方法 JASS 8 疲労試験に準拠

- ・試験体: 100mm×300mm(中央の150mmの位置に亀裂を設ける)
- ・下地挙動: 0.5⇔1.0mm、破断しない場合はさらに1.0⇔2.0mm
- ・試験温度: 20°C→60°C→-10°C
- ・疲労回数: 各条件で500回の伸縮を行う

□試験結果

疲労回数3000回まで防水層の破断は生じず、高い耐久性があることが確認された。

オルタックスプレーFF: JASS 8 疲労区分 A3
オルタックスプレーGG: JASS 8 疲労区分 A4



下地挙動(mm)	0.5⇔1.0			1.0⇔2.0		
温度(°C)	20	60	-10	20	60	-10
伸縮回数(累計)	500	1000	1500	2000	2500	3000
破断の有無	3000回まで破断無し(JASS8 疲労区分A3)					

耐衝撃試験

防水層に物が落下した際の防水層の損傷を確認する。

□試験方法

JASS 8 耐衝撃試験に準拠

- ・コンクリート平板下地に防水層を施工し、0.5kgのおもりを落下させる
- ・落下高さ: 0.5、1.0、1.5m

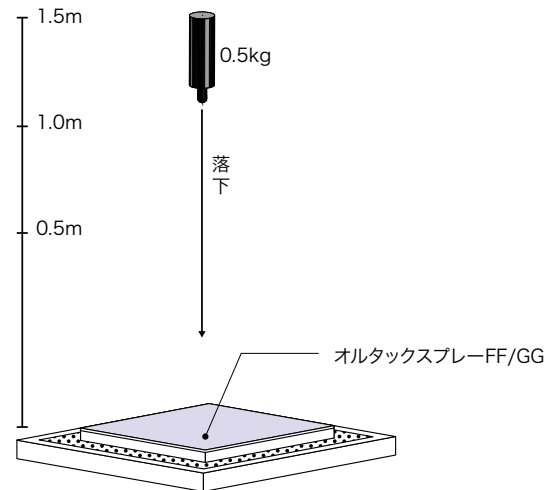
□試験結果

・一般部仕様: 耐衝撃区分4

※オルタックスプレーFF: JASS 8 耐衝撃区分4

オルタックスプレーGG: JASS 8 耐衝撃区分4

(JASS 8 耐衝撃区分4…重量のある工具・器具などを落としても穴があかない)



耐摩耗試験(回転ラベリング試験)

規定した位置に既定の荷重(ゴムタイヤに荷重をかけた状態で送稿)を作用させ耐摩耗性を確認する。

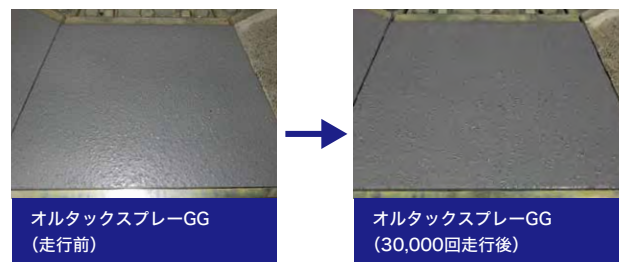
□試験方法 回転ラベリング試験

□試験条件

- ・速度: 20km/hr
- ・回転半径: 1m
- ・輪荷重: 1.5 k N
- ・試験回数(回): 30,000
- ・判断基準: ①外観観察を行い、クラックの発生などの異常がないこと
②表面形状測定 針入度試験において初期表面形状と差がないこと

□試験結果

- ①オルタックスプレーFF/GGともに異常なし
- ②オルタックスプレーFF/GGともに摩耗はほとんどなく、表面形状としても差は見られなかった



材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

種類	品名	規格	備考
防水材	オルタックスプレーFF	390kg/セット (主剤:200kg、硬化剤:182kg、トナー:8kg)	スプレー用ウレタン防水材 JIS A 6021 高強度形 トナー色:グレー(標準在庫品) イエローオーカー、グリーン、アイボリーは受注生産品
	オルタックスプレーFF-S	35.12kg/セット (主剤:18kg、硬化剤:16.4kg、トナー:0.72kg)	
	オルタックスプレーGG	390kg/セット (主剤:202kg、硬化剤:180kg、トナー:8kg)	スプレー用ウレタン防水材 JIS A 6021 高強度形 トナー色:グレー(標準在庫品) イエローオーカー、グリーン、アイボリーは受注生産品
	オルタックスプレーGG-S	35.12kg/セット (主剤:18.2kg、硬化剤:16.4kg、トナー:0.72kg)	
	OTグリップA/ OTグリップスロープ用	25kg/袋	ノンスリップ仕上げ用骨材(5号相当砕石) スロープ用(3号相当砕石)
プライマー	OTプライマーQQ	16kg/缶	速硬化型ウレタン系プライマー (コンクリート、モルタル下地用)
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速硬化型青色着色ウレタン系伸介プライマー (ウレタン下地用)
	速硬化オルタックプライマーE	30kg/セット(主剤:15kg、硬化剤:15kg)	速乾性エポキシ系プライマー 受注生産品
	オルタックプライマーE	15kg/セット(主剤:12kg、硬化剤:3kg)	エポキシ系プライマー 受注生産品
	KYプライマーエポ金属用	10kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:2kg)	エポキシ系プライマー(金属下地用、さび止め用) 配合比 主剤:硬化剤:専用希釈剤=8:2:1(質量比)
	KYプライマーエポ用希釈剤	13.5kg/缶	KYプライマーエポ金属用 専用希釈剤
副資材	OTコートQQ	15kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:9kg)	速硬化型アクリルウレタン系保護塗料 色:2色(半つや) 受注生産品6色
	オルタックコートSS	15kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:9kg)	オルタックスプレー専用速硬化型保護塗料(汎用溶剤タイプ) 色:8色(半つや) 受注生産品
	アジャストU	15kg/缶	洗浄剤(汎用溶剤タイプ)
	OTシール	320ccカートリッジ 20本/箱	ウレタン系シーリング材(速乾性1液)
	TMパッカー	W15×H4×L1000mm 100本/袋	スプレー塗膜端末用処理材 受注生産品
	オルタックパークライン	15kg/セット(主剤:3kg、硬化剤:12kg)	駐車場仕様専用ライン材 色:白、黄 受注生産品



オルタックスプレーFF/FF-S
オルタックスプレーGG/GG-S
※写真はFF/FF-S



OTプライマーQQ



アジャストU



OTコートQQ



オルタックパークライン



OTシール

【ご使用時の注意】

- 急ブレーキや急発進、急な転回等をしないでください。また、大型車両の走行を避け、走行速度は時速8km/h以下としてください。
- タバコの吸い殻の投げ捨て、火花等はしないようにしてください。(火気の使用禁止)
- 溶剤、シンナー、ガソリン、不凍液等をこぼさないようにしてください。
- 重いものをひきずったり、鉄材など硬いもの、除雪作業時のスコップ等鋭角なもので傷つけないでください。
- タイヤチェーンやスパイクタイヤでの走行はしないでください。
- 洗浄の際は中性洗剤を用いてください。
- 表面が濡れているときは滑りやすくなり、転倒・怪我の恐れがありますのでご注意ください。
- テーブルやイス等を置く場合、ゴムキャップやマット等で脚部を保護してください。
- ゴルフの練習等、駐車場用途外の不適切な使用はしないでください。
- 動物を飼わないでください。防水層の損傷や糞尿による劣化のおそれがあります。
- クリーニングタワー用の防藻剤や殺菌剤等は、防水層を損傷させることがありますのでご注意ください。

【メンテナンス】

- 排水溝やドレンが詰まらないよう、点検清掃を行ってください。
- 定期的に防水層の状況を点検し、保護塗料や塗膜の膨れ・剥離・ひび割れ等の異常を発見した場合は施工業者に連絡してください。(材料及施工に原因が無い場合は有償となります。)
- スロープ周辺や、コーナー、停止線周辺は防滑層に著しい摩耗が生じる可能性があります。その際は防滑層の補修を行ってください。(有償)
- 防水層の維持保全のため、定期的な保護塗料の塗装を推奨します。(有償)

北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

2023.10 © SN 3,000

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。
- ・下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。